

メダルの夢



足立聖亮 棚村克行

火球

アーチェリー世界選手権で
的を狙う斎藤史弥＝ベル
ン（全日本アーチェリー連
盟提供、共同）

齊藤史弥

アーチェリーの世界選手権（昨年8月・ベルリン）で男子リカーブ団体の3位に入り、銅メダルの選手では最速でバリ五輪出場を決めた斉藤史弥（日本大、大垣高出）。19歳の若きアーチャーの躍進に目が離せない。

高校3年時には高校の主要3大会で史上初に3冠を成し遂げ、注目を浴びた。昨年10月の全日本選手権でも初優勝を果たし、勢いそのままに新年を迎える。

射止めるのは



アーチエリー

田中雄己

カヌー・スラローム男子カヤックシングルの田中雄己（駿河台大、中京高出）は、世界選手権（昨年9月・ロンドン）で15位に入り、初の五輪出場を決めた。同種目で銀メダルの五輪出場は初めてとなる。

中津川市出身。大学進学後は2016年リオオリンピック五輪銅メダルの羽根田卓也（ミキハウス）の練習パートナーとして腕を磨いた。昨年10月の杭州アジア大会で銀メダルを獲得。

カヌー・スラロームの
世界選手権男子カヤッ
クシングでパリ五輪
出場を決めた田中雄己
＝ロンドン（共同）



力又—

パラ五輪

8月28日 START
9月8日 FINAL



車いすテニス

小田 凱人

パ・ソニックは8月28日に開幕し、9月8日まで12日間実施される。夏五輪は3度目を迎える。花の都で、障害者への祭典の趣向が初開催。22競技、549項目に最大460選手が出場し、熱戦が繰り広げられる。

2001年東京大会は「オパール」を主題。パリオンの緑葉文様は、五輪とパ・ソニック別設のファンクラブ「パ・ソニック」のシンボルマーク「パ・ソ」の組み合わせから生まれた。至幸の大会公開し、大会とパ・ソニックのシンボルマーク「パ・ソ」をモチーフにしたデザインを用いる。

世界大会の開会式新舞台となることを見こした。開会式の場は、パ・ソニックの広場、エッセル近辺公園では視覚障害者による人制サッカー、ベラスノウ定数は馬術が行われる。

既代表は定定に定する、定勢勢は、競泳男子400m显泳走、短距離の山口陽秀、四国大会に、東洋一を破った出口が熱戦。車テニスは出頭人、東海理花のほか、女子エースの上地桂子（三）は、

今のバリ・バリ男子の小山田くん(17)が日本の若き顔として期待されて、昨年は四大大会のシंगルで初優勝を含む2勝を挙げ、世界ランク1位の最少記録を樹立した。同競技で年々若者がたつ国籍倍増この後継者には、金メダルを目標とするとともに、バスケボール界もつ、張る使命感を胸に抱く。

昨年の躍進は劇変だった。一瞬のキラリは、20023³からスタートした。

小山田は6月の全豪オープンテニスで四大大会の車いすの

[illegible]

県勢4人代表内定

五輪イヤーの2024年が幕を開けた。7月5日から8月11日まで開かれるパリ五輪五輪。現時点で賑やかなりの選手は4人が本代表で内定している。選手と連日の活躍に内田も沸いた東京五輪からは3年。「清流フリー」とは花の都で再び運動を期す。

子ヤクシツケの田中雄二（駿河宮、中宮高出、水球男子足立姫弥 Kingfisher 74 名務原中宮中出）と鞠弓行 ツルホ、元宮（調子ツツガナ）所國の4人。五輪本大会に照準を合せて調整を励む。年が明けて代替員は格化される。陸上男子1万高跳のバロウ・ヘンツ、水球男子を中心デブビーが脱離。出場権獲得を目指す選手を含め、注目が集まる頃けりの選手を紹ぐる。

陸上男子走り高跳び・赤松諒一

初の五輪出場に向けて着実に歩を進めるのは、陸上男子走り高跳びの赤松稔一（アワーズ、岐阜大出）。世界選手権（昨年8月・ブダペスト）では同種目で日本勢3人目の入賞を果たした。今月から6月までに参加種目記録を突破すれば代表出場で決まる。

岐阜市出身。1人企業のシステムエンジニア、大学医学部の研究生の顔も持ち合わせる。三万流ジャンパーとして注目を集める。



陸上世界選手権の男子走り高跳びで8位入賞した赤松諒一＝ブダペスト(共同)

パリ五輪

7月26日 START
8月11日 FINAL



パリ五輪の大会マスコット「フリーズ」(共同)

ホッケー！男女日本

「オ、トシに男は生れまじか」といふので、五輪出陣に向ひて正念込で早稲の大倉連を助成し出るや代表者は、イデ、又、会連を出陣し、期す男子は八人ばかりで、それぞれ日頃から始末を最善にするに。

五輪を準備するに州ツラ大会距離。10・中園で、女子は主将の弁雄(ト)・H・C、男子は早川は其昔年つら吉川原(較)早朝日ヲは八人の戦ひなり、選手一人の陣亡が、ともに出場権を選んだ。

最終選手は男女七と16チームが8チームに分かれ、上位者チームが五輪出場を得る、故郷世界ランニング日本には4年男子は番手、厳しい戦いと思ふされるが、下見に期待したい。



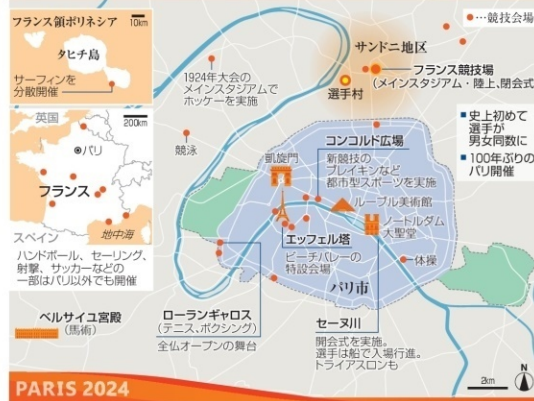
競泳女子・今井月

競泳女子の今井月（ハローHD）は、2016年リオデジャネイロ五輪以来の五輪出場を目指す。昨年は200メートル平泳ぎで日本選手権2連覇を果たし、世界選手権に出場。6年ぶりに日本代表に再び咲いた。



杭州アジア大会の競泳女子200メートル平泳ぎ決勝でレースを終え笑顔の今井月＝杭州(共同)

2024年パリ五輪の主な会場 7月26日～8月11日



パリ五輪のメインスタジアムとなる
フランス競技場＝パリ郊外サンドニ
(ロイター＝共同)